横浜天声キリスト教会　週報　第18巻12号（No.684）　2023年3月19日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　イザヤ62:4-5 ・・・・・・・　御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・21番　力の主を
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・45番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・177番　御霊よ、降りて
礼拝のための祈り　・・・・・・・成田エクレシア：史執事　天声：小林伝道師
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・89番　シャロンの花
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・・愛の契約関係(雅歌8:6-7)
御言葉を適用する祈り　・・　会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・187番　罪は緋のごと
幸せと成功の宣言文・・・・　会衆一同
献金感謝の祈り　・・・・・・・・　パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3/21(火)ロゴス・ライフ教会にて、クララ宣教師によるカンファレンスが行われます。ふるってご参加ください。
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

____はもはや「捨てられた者」と言われず、____の地はもはや「荒れた者」と言われず、____は「わが喜びは____にある」ととなえられ、____の地は「配偶ある者」ととなえられる。主は____を喜ばれ、____の地は配偶を得るからである。若い者が処女をめとるように____を再建する者は____をめとり、花婿が花嫁を喜ぶように____の神は____を喜ばれる。（イザヤ62:4−5）
____の神、主は____のうちにいまし、勇士であって、勝利を与えられる。彼は____のために喜び楽しみ、その愛によって____を新にし、祭の日のように____のために喜び呼ばわられる。「わたしは____から悩みを取り去る。____は恥を受けることはない。見よ、その時____をしえたげる者を／わたしはことごとく処分し、足なえを救い、追いやられた者を集め、彼らの恥を誉にかえ、全地にほめられるようにする。その時、わたしは____を連れかえる。わたしが____を集めるとき、わたしが____の目の前に、____の幸福を回復するとき、地のすべての民の中で、____に名を得させ、誉を得させる」と／主は言われる。（ゼパニヤ3:17−20）

メッセージ概要

男女の愛がモチーフに歌われている歌は、世の中に多い。男女の愛には甘さ、麗しさ、みずみずしさ、どきどき・わくわくする感覚があるが、同時に脆さがあり、愛が敗れた時の痛さ、苦々しさもよく歌われる。私達を夢中にさせるこの男女の性愛は、ギリシア語で「エロース」と言うが、それはエゴイスティックな愛である。エロースの愛は、意中の人を独占するために外見や内面を整えたり、相手の好きなものを取り繕って意を得ようとはするが、つきつめると、結局自分の利益のためにしているものだ。異性と性的な関係を結ぶなら、当然、二人の間に子ができる事を意識しなくてはならないが、それを一切考慮に入れず、ただ性欲を満たしたいとか、相手をわがものにしたいだけ、とするなら、新しく家庭を建て上げて行こうとか、子育てや家庭構築のために二人で協力して建てあげていこう、といった「責任」が伴われない、感情ベースのものである。
もし愛の基礎を「感情」だけに置いているとするなら、それは、砂の上に立てている家と同じで、もし嵐が吹き付けるなら、ひどい倒れ方で倒れてしまう。恋愛や結婚において、どうしたら、砂の上ではなく、岩の上に、頑丈に建てる事ができるだろう。今回も、聖書の中にある「歌の中の歌」、雅歌書から学びたい。

『*わたしをあなたの心に置いて印のようにし、あなたの腕に置いて印のようにしてください。*』(雅歌8:6)
これは、恋する女性なら誰もが抱く願望だろう。しかし、世の男性は、彼女をいつも心臓や腕の上に置き続ける事はできない。ところが真の花婿・キリストは、まさに私たちを心に、手のひらに、刻み付けてくださった。
人の愛の炎は「大水も押し流す事はできない」(7節)、という事はあるかもしれない。しかし主の愛は、死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも深さも、その他どんな被造物も、主キリスト・イエスにある神の愛から、私達を引き離すことは、できない！(ローマ8:38-39)
イエス様との愛の関係は、今日は気分が乗っているから愛する、今日は気分が乗らないから愛さない、といったような、自分の気分いかんで変わる関係ではない。むしろこの関係は、「契約関係」であり、私達の意思を用いて、御言葉の基準を選び続ける歩みである。主にあっては、夫婦も同様に、契約の関係である。
結婚式の時、男女は神と人との前で誓約する。健やかなる時も、病める時も、富める時も、貧しき時も、死が二人を別つ時まで、真実を尽くして相手を愛し、相手を敬い、相手を慰め、相手を助け、生涯、相手に貞節を守り続ける、と。神と人との前で共に結んだ「契約」であるなら、気分が乗る・乗らないに関わりなく、自分は相手を愛し、大切にする方向を選び続ける。そういう歩みを続けていくのが、本来の夫婦の歩みだ。
聖書もまた、契約である。だから私達は、聖書に記されている事は、気分が良くても悪くても、主がするなと言われた事はしない。主がしなさい、と言われた事は、たとえ気が乗らなくても、する。そのように契約に誠実に歩んで行くなら、神様との関係も、また夫婦の関係も、ほんとうに成熟した麗しい関係となっていく。

「*人は愛を得ようとして財産（原文：家の富）をことごとくなげうっても、さげすみしか得られない。*」(7節)
真の愛は、自分由来の豊かさや力、資質といった、何か「モノ」で釣ろうとしても、蔑みしか得られない。
魔術師シモンは、手を置けば聖霊が与えられる、という不思議な力を、金を出して買おうとしたが、蔑みしか得られなかった（使徒8:9-24）。神の子となる事は、**愛の関係に入るかどうかの**問題であって、利害関係の問題ではないからだ。世の宗教は、はっきり言って「利害関係」である。現世のご利益や願望成就はもちろん、来世で幸せを得たいという思いも、結局は、利害がベースになっている。もし、キリスト教も「利害」と考えているなら、その人は何も分からず成長もしないままだ。知るべきである。まことの神との関係は、はっきり言って「愛の関係」だという事を。まことの神は、私達を招く。父と子の親しい愛の関係に入りなさい、と。
ある人は大いに成長し、ある人は全然成長しない、という、差別化・両極化は、どうして起こるか。それは、主との愛の関係を構築しようとしているか、いないか、で決まる。神様と自分とで、愛の関係を日々送っている人は、どんどん愛の関係が濃密になっていき、年々成長して行くが、愛の関係が無い人、また理解できない人は、宗教的行事は行うとしても、主と親密になりようが無く、成長も無く、色々と空振りし、疲れてしまう。もしイエス様と人格的な交わりがあり、愛の関係を築いているなら、常に思っているはずである。自分はイエス様が好きな性質を身につけよう、イエス様が嫌いなことは排除しよう、と。姿勢からして、違うのだ。
岩なるキリストの愛にしっかりと根ざし、雅歌の夫婦のように、相手との愛の関係も、キリストとの愛の関係も、さらに熱く、深く、強くなっていく私達でありますように。イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	11:30 開始
交わり	13～14 時
English Service	14 時半開始

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会 19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 18 巻 12 号　　2023 年 3 月 19 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：　045-326-6211
Homepage：　http://voice.of.christ.yokohama/
email：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp